

令和7年4月25日

玉城町長 辻村 修一 様

玉城町議会議長 小林 豊



教育民生常任委員会からの提言

表題の件につきまして、下記のとおり提言内容をまとめ、玉城町議会として町長に要望することを提案いたしますので、ご検討のほどよろしくお願いたします。

記

1. 提言内容

田丸保育所について、移転・建て替えの早期実現に向けた用地確保の計画案の明示を求める。併せて、田丸保育所周辺の崖の地盤調査の実施状況について説明を求め、未実施の場合は早急な実施を要望する。

2. 提言の理由及び主旨等

近年、南海トラフ巨大地震の発生について「今後30年以内に80%の確率で発生する」との報道もあり、いつ発生してもおかしくない状況にあります。昨年8月には、宮崎県沖で発生した地震が南海トラフの想定震源域内であったことから、緊張が走りました。

このような状況下、耐震性を高めた新しい建物への移転・建て替えを、城郭外で計画することが必要不可欠と考えます。

田丸保育所は背後に田丸城跡の崖が有り過去にも崩落の事例があります。現在は部分的に崩落防止措置が講じられていますが、大規模地震が発生した場合、高確率で崩落が発生すると予想されます。

玉城町は「子育てしやすい町」を掲げており、これからの町を支えていく子どもたちを災害から守ることは行政の責務です。よって田丸保育所の移転・建て替えの実現に向けた用地確保の計画案の早期策定と田丸保育所周辺の崖の地盤調査の実施を強く求めます。

3. 執行部への要請

本提言について、執行部としての具体的な方針と対応を示し、用地確保・移転・建て替えの可否と理由、崖の地盤調査の実施状況および今後の対応について、町議会への回答を求めます。

玉城町議会から「教育民生常任委員会からの提言」を辻村町長へ提出しました。



令和7年4月25日町長公室にて

(左から辻村修一町長、小林議長、渡邊委員長、谷口委員長、前川副議長)